

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	峰松 茂泰
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室、都市政策課	
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 13,334,094	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)は、交流人口の拡大や産業振興につながる重要な交通基盤であることから、令和4年秋の着実な開業を目指します。また、新鳥栖～武雄温泉間については、西九州地域の発展に大きく寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。 また、九州新幹線西九州ルートの整備に伴い、上下分離方式に移行することとなるJR長崎本線(肥前山口～諫早)は、令和4年秋の西九州ルート開業に合わせ、確実な実施に向けて取り組んでいきます。		i) 西九州ルートの令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現 ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進 iv) 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 武雄温泉～長崎間については、本年9月23日に、武雄温泉駅での対面乗換方式による開業を迎えた。 一方、新鳥栖～武雄温泉間については、令和元年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、現在、国土交通省と佐賀県の間での協議や与党での検討をはじめ、関係者間での議論が行われている。 フル規格による整備の早期決定に向けて、県では、地方負担や並行在来線等の課題解決を図るよう、政府・与党やJR九州に対して要請等を実施した。
	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業	目標値①	—	開業	—	—	—	開業(R4)	
	実績値②	—	—	—	—	—	—	進捗状況	
	達成率②/①	—	—	—	—	—	—	—	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等		
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率	
				R3実績					R3目標	R3実績			
				R4計画	R4目標	R4実績							
事業実施の根拠法令等			令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)										
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象									
所管課(室)名													
取組項目 i	○	1	新幹線・鉄道整備促進事業	27,877	27,877	39,120	全線フル規格の実現に向け、国等への要望活動や情報収集、県内向けの広報・啓発活動を行った。また、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	【活動指標】	数値目標なし	9	—	●事業の成果 ・国土交通省と佐賀県の間での協議や与党での検討をはじめ、関係者間での議論が行われており、令和3年6月には、在来線や地方負担等に関して、与党PT検討委員会の検討状況が報告された。また、広報活動等により、西九州新幹線の開業やフル規格による整備に対する気運が高まった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・九州新幹線西九州ルートの整備促進に寄与した。	
				29,581	29,581	38,950			要望活動(回)	数値目標なし	7		—
				379,058	238,958	38,405			数値目標なし	—	—		
			H7-	—	—	—		【成果指標】	数値目標なし	—	—		
新幹線対策課	—	○	—	国、市町、鉄道事業者等	西九州ルートの令和4年秋までの開業	数値目標なし	—	—					

取組項目 ii	○	2	JR佐世保線高速化整備事業	301,762	62	3,912	西九州新幹線開業に合わせて、JR佐世保線を高速化するために必要な地上設備の整備を実施した。	【活動指標】	6	6	100%	●事業の成果 ・レール交換や路盤改良等を実施し、令和4年9月の高速化に向けて整備が進んだ。 ・令和3年度に発生した豪雨災害の影響により、一部工期を見直す必要が生じたため、主な軌道工事の進捗率は目標未達成となっているが、令和4年9月の運行開始に支障はない。 ●事業群の目標達成への寄与 ・佐世保線の利便性の確保に寄与した。
				886,835	886,835	3,895		JR九州との協議回数(回)	6	7	116%	
				197,851	98,851	3,841			4			
			R元-4	—				【成果指標】	24	22	91%	
		新幹線対策課	—	○	—	JR九州	主な軌道工事の進捗率(%)	98	78	79%		
			—					100				
取組項目 iii	○	3	新幹線整備事業費負担金	14,209,310	956,800	27,384	九州新幹線西九州ルート建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	【活動指標】	数値目標なし	14,209,310	—	●事業の成果 ・令和4年9月23日の開業に向けて、着実に工事が進んだ。 ●事業群の目標達成への寄与 ・九州新幹線西九州ルート建設に寄与した。
				9,935,359	938,900	19,475		負担金支出額(千円)	数値目標なし	9,935,359	—	
				5,659,994	243,295	19,203			数値目標なし			
			H19-	—				【成果指標】	数値目標なし	—	—	
		新幹線事業対策室	—	○	—	鉄道・運輸機構	西九州ルート令和4年9月23日の開業	数値目標なし	—	—		
			—					数値目標なし				
取組項目 iv	○	4	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	1,757,485	19,956	11,165	デザイン検討会議を1回開催し、長崎駅舎・駅前広場等のデザイン決定に向けた課題を整理した。 また、鉄道事業者とH27に策定されたデザイン基本計画に基づいた駅舎デザインの具現化を図るための協議を実施した。	【活動指標】	8	12	150%	●事業の成果 ・「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいた様々な課題整理を鉄道事業者と行い、新幹線駅舎工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・様々な課題整理を行い、駅舎などの施設・公共空間のデザイン調整や長崎港周辺の魅力ある都市景観の形成に寄与した。
				1,156,388	734,105	10,994		鉄道事業者との協議回数(回)	10	12	120%	
				66,025	28,125	10,753			3			
			H19-	—				【成果指標】	1	1	100%	
			都市政策課	—	—	—	鉄道運輸機構、長崎市	長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画テーマの達成項目(個)	1			
	○	5	長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	4,820,158	10	—	令和3年度は、現道の復旧工事等を行った。	【活動指標】	4	4	100%	●事業の成果 ・工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・JR長崎本線の高架化やデザイン調整に基づく駅舎などの建築が円滑に進み、長崎港周辺の魅力ある都市景観の形成に寄与した。
				1,235,905	27,357	—		工事説明会の開催回数(回)	4	5	125%	
				2,591,337	57,633	—			2			
				H21-	—			【成果指標】	90	96	106%	
			都市政策課	—	—	○	JR九州	事業進捗率(%)	97	97	100%	
				—					97			
	○	6	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	35,599	100	7,975	令和3年度は、浦上駅前広場の復旧工事等を行った。	【活動指標】	4	4	100%	●事業の成果 ・工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・JR長崎本線の高架化やデザイン調整に基づく駅舎などの建築が円滑に進み、長崎港周辺の魅力ある都市景観の形成に寄与した。
90,026				13,439	3,927	工事説明会の開催回数(回)		4	5	125%		
106,807				4,644	3,840			2				
H22-				—				【成果指標】	90	96	106%	
		都市政策課	—	—	—	JR九州	事業進捗率(%)	97	97	100%		
			—					97				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 西九州ルート¹の令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、現在、国土交通省と佐賀県の間での協議がなされており、与党の検討状況も報告されたところであるが、整備に向けては、佐賀県の理解が不可欠である。今後も、佐賀県が課題とする在来線や地方負担等の課題の解決に向け、それぞれの場で精力的に協議を積み重ね、議論を進展させることが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 地方負担や並行在来線等の課題解決を図り、関係者が納得する形で早期に整備が実現できるよう、佐賀県と継続的にコミュニケーションをとりながら、西九州地域全体の視点から、議論を積み重ね、関係者との協議をもつなど、全線フル規格による整備の早期実現を目指していく。</p>
<p>ii JR佐世保線の輸送改善に向けた取組</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和4年9月の九州新幹線西九州ルート¹の開業に合わせて、JR佐世保線の高速化が実現するよう、地上設備の整備を実施していくことが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 JR九州や佐世保市と連携し、進捗状況を確認しながら、着実な工事の実施を図る。</p>
<p>iii 西九州ルート¹の早期完成・開業を目指した整備促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 西九州ルート¹の令和4年9月23日開業を目指した整備促進</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 武雄温泉～長崎間の令和4年9月23日開業ができるように鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、工事の進捗を図っていく。</p>
<p>iv 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 ・長崎駅舎、駅前広場のデザインに関して、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいた様々な課題整理を長崎市、鉄道事業者と行い、新幹線駅舎工事を実施した。 ・長崎駅周辺連続立体交差事業に関して、旧鉄道施設撤去、側道整備を行った。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 長崎駅前広場のデザイン、長崎駅周辺連続立体交差事業に関して、引き続き長崎市、鉄道事業者等と連携し、事業の進捗を図る。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名		令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間	所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目iv	○	4	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	—	—	引き続き、長崎市と連携し、駅前広場に係る事業を推進。	現状維持	
			H19-都市政策課	—				
	○	6	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	—	—	引き続き、鉄道事業者と連携し、側道の整備を推進。	現状維持	
			H22-都市政策課	—				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点